



# あなたの思いやりを

(社)被害者支援センターやまなしだより

第5号

平成20年12月



## 活動への理解呼び掛けキャンペーン



「(社)被害者支援センターやまなし」は、平成20年10月3日(金)、JR中央線甲府駅南口で、全国被害者支援ネットワークによる犯罪被害者給付制度の設立10周年を記念して、犯罪被害者支援活動への理解や参加を呼び掛ける街頭キャンペーンを行いました。当日は、県警犯罪被害者支援室や山梨県県民生活課、甲府警察署、当センター職員ら約20人が、通勤、通学客にパンフレットなどを手渡しました。

また、10月25日(土)、県民文化ホールで開かれた「山梨県警音楽隊ふれあいコンサート」の会場(写真左)でもパンフレット等を配布し、活動への理解を呼び掛けました。

# 久保田由枝子さん招き講演会

11月18日 山梨県青少年センター別館

当センター主催の「犯罪被害者支援講演会」が11月18日(火)午後3時から、甲府市の山梨県青少年センター別館(2階)で開かれました。

講師に、1998年に長男を飲酒運転の車にはねられ亡くした、被害者支援都民センター自助グループの久保田由枝子さんを招き、「交通犯罪被害者になって体験したこと」と題した講演をしていただきました。



## さらなるスキルアップのために

### ボランティア支援員育成ミニ研修(ブラッシュアップ)講座

当センターでは、ボランティア支援員に対し、基本的な教育研修を受講したのち、さらなる知識や技能の向上を図るために「支援員育成ミニ研修(ブラッシュアップ)講座」を開いています。第6回以降は、右表のように開催されました。今後も毎月2回のペースで継続開催する予定です。

	日時 (11:00~14:00)	参加者	方式	テーマ
第6回	9月4日	10名	ワークショップ	①自己の価値観の検討 ②他者理解
第7回	9月20日 (びゅあ総合)	18名	ワークショップ 事例検討	①自己理解・自己点検 ②妄想傾向のある相談者への対応と 終結技術
第8回	10月1日	10名	小講義と グループ討議	①犯罪被害者のサポートをするための 基礎知識入門 ②刑事手続きの流れ
第9回	10月21日	5名	グループ ワーク	事例を使って自己の価値観の点検
第10回	11月15日 (山梨英和大学)	11名	自由討議	①参加者の近況報告 ②各人の体験が、相談活動や対人援助活動にどう影響するか ③ケース検討、特に情報の伝え方 ④最新の情報収集の必要性和研修 ⑤関係機関、特にリファー先を知っておくことの重要性

※ワークショップ:参加者が専門家の助言を得ながら問題解決のために行う研修会



被害者支援



### Q3 民間被害者支援団体は、どのような活動を行うのですか。

**Answer** 次のような支援活動を行います。

- 民間被害者支援団体は、
- 被害者等からの相談の受理(電話・面接)
  - 被害者等に対する直接支援等(裁判所・病院等へ

の付添い等)

- 被害者等の精神的負担軽減のためのカウンセリングの実施
- 被害者支援に関する広報啓発
- 犯罪被害者支援連絡協議会(地域ネットワーク)との連携による支援
- 犯罪被害者等給付金の申請手続き、各種保護制度の申請補助等
- ボランティア相談員・支援員の募集及び養成、研修などの活動を行います。

つづく



## 大震災の被災者に対する心理援助

日本臨床心理士会主催被害者支援研修会に参加して

山梨県警察本部犯罪被害者支援係員

わたしは平成18年度から山梨県警察本部の犯罪被害者支援係として勤務しており、被害者支援センターやまなしが社団法人となる以前、任意団体として立ち上げられた際にも、スタッフとして関わりました。当時、山梨県における民間被害者支援団体の立ち上げが本格的に動き出し、その名称について話し合われた時、犯罪被害者支援センターとせず、あえて被害者支援センターとしたのは、犯罪被害者のみならず、事故や災害の被害者も支援していく、という意図からでした。幸いなことに、ここ数年、山梨県内では多くの死傷者を伴うような凶悪な事件、大規模な事故や災害は起きてはいませんが、近年、全国各地で犯罪事件のほかにも、地震や水害などの災害、多くの死傷者を伴う事故などが発生しており、誰もがいつかどこかで何らかの被害者になる可能性を必ず持っているのだと、各地の事例などを見る度に痛感しています。

先日、広島県で開催された日本臨床心理士会の主催による「第10回被害者支援研修会」に参加する機会に恵まれました。この研修会は、日本臨床心理士会が臨床心理士向けに、各分野における基礎知識を取得し、技術を学ぶ機会を設けるため毎年開催しているもので、臨床心理士以外にも被害者支援に携わる関係機関職員等に参加が認められているものです。わたしが受講した入門コースの講師の先生方は、本年5月に起きた四川省の震災において、現地の心理援助スタッフに対し、阪神淡路大震災などの過去の事例から培った被災者への心理援助のノウハウをもとに、2回に渡る研修を実施し帰国した直後であり、四川省の事例を踏まえた災害時の心理援助についての講義を受けることができました。

た。災害は、トラウマ(命を脅かされる恐怖)、喪失(大切な人の死)、持続する生活ストレス(長期の避難生活など)の3つのストレスをもたらします。これらのストレスは、多くの被災者に、むやみにいららす、不安で眠れない、自責の念に駆られる、何もする気が起きない、被災した場所に行けないなど、様々な心の問題を引き起こしますが、これらは特殊な事態を体験したことによって人間が普通に起こす反応(心的外傷後ストレス反応)であり、誰もがこうした状態になり得ます。しかし、十分な心のケアを受けられずにいると、そうしたストレス反応がそのまま常態化してしまうことがあります(心的外傷後ストレス障害(PTSD)といいます)。こうしたストレス反応が誰でも起こし得る普通の反応であり、その人の精神状態が決して異常なわけではないことを理解し、被災者が本来持っている回復力を引き出せるようサポートするのが心のケア活動であるとの教養を受けました。

東海地震は、もういつ起きても不思議ではないといわれており、山梨県においても大災害を想定した防災・救護訓練が積極的に実施されているところです。有事の際には、警察はもちろん被害者支援センターなどの関係機関が連携し、被害者を支援することが求められます。センターが被災者に対して担う役割も大きく、不幸にも被害者となってしまわれた方々のため、支援の良きパートナーとして尽力していけることと確信しています。



あなたの思いやりが被害者を支えています。  
**ご協力感謝申し上げます。**



## 山梨県遊技業協同組合へ感謝状

同組合は、被害者支援活動の重要性に深い理解を寄せられ、広報宣伝や支援活動など公益事業推進のために浄財を寄付されました。9月19日、当センター竹井理事長から大森武正理事長、扇谷博之(株)光新星甲府営業所所長へ感謝状を贈りました。

### 賛助会員入会者

- 武川 勉
- 中村 正則
- 樋口 雄一
- 安本 美紀
- 時田 理香
- 田中 富子
- 赤澤 典子
- 株式会社 山梨新報社

### 寄付者

- 中楯 幸雄
- 中村 一郎
- 藤原 福子
- 宮坂 清
- 内藤 幸平
- 赤澤 典子
- 株式会社 森嶋商事
- サテライト双葉
- 大和工商リース(株)

(敬称略・順不同) (平成20年8月11日～11月15日)



## ご案内

### (社)被害者支援センターやまなしとは?

犯罪・交通事故等の被害者やそのご家族・ご遺族に対して、精神的なケアを行うなど、被害者の方の早期の立ち直りを支援するとともに、県民全体に被害者等に対する思いやりを広め、社会全体で被害者を支え合う協働社会づくりを目的とする団体です。

「(社)被害者支援センターやまなし」の活動は、センターの事業目的にご賛同いただいた皆様からの会費や寄付金によって運営されております。

趣旨にご賛同いただける方のご入会やご寄付をお待ちしております。(1口以上何口でも結構です)

### 賛助会員

個人会員	1口	2,000円(年間)
法人会員・団体会員	1口	10,000円(年間)

### 寄付

個人寄付	1口	1,000円
法人・団体寄付	1口	10,000円

### お振込先

#### ●銀行振り込みの場合

山梨中央銀行 県庁支店 普通預金 口座番号662535

#### 受取人

(フリガナ) シャ)ヒガイシャシエンセンターヤマナシ  
 (社)被害者支援センターやまなし

#### ●郵便振替の場合

00270-3-114370

(社)被害者支援センターやまなし



犯罪・交通事故等の被害で  
**悩んでいませんか?**  
**私たちにお電話ください**

電話相談  
**相談無料**

フジはハローニコニコ  
**☎055(228)8622**

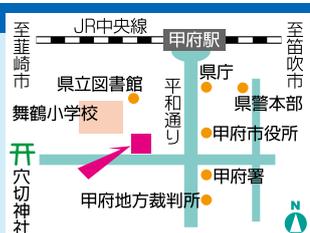
受付:10:00~16:00(土・日・祝日・年末年始は除く)

※秘密は厳守されます。相談の内容は一切外に漏れることはありません。  
 ※お名前、話したくないことを無理にお聞きすることはありません。

### お問い合わせ先

## (社)被害者支援センターやまなし

〒400-0031 甲府市丸の内2-32-11 県医師会館3F  
 TEL・FAX055(228)8639  
 URL <http://www6.ocn.ne.jp/~shienyam/>  
 MOBILE <http://www6.ocn.ne.jp/~shienyam/m/>  
 Email [sien-yamanashi@comet.ocn.ne.jp](mailto:sien-yamanashi@comet.ocn.ne.jp)



この広報紙は競艇の  
 交付金による日本財  
 団の助成金を受けて  
 作成しました。